

# 連珠っておもしろい

名人 河村典彦

## ●第15回● 対局中に考えること

貴方は対局中に歌を口ずさむことがありますか？

いきなり唐突な質問をしまうが、私は連珠の対局中によく歌が頭の中を流れる。その歌は流行歌であったり、童謡であったり、コマールであったりする。なぜそんな歌が頭に流れるかわからないが、名人戦のような持ち時間が長い対局ほどよく流れる。そして時には知らないうちにその歌を口ずさんでいる。

将棋のプロの言葉の中にそのような記載があったので、私だけではないのだとほっとしているが、個人差があれ常識的なことなのか、ちよつと変わったことなのかかわからない。しかも、好不調も流れてくる歌によりわかるように

なってきた。

まったく歌が流れてこない時は、概して好調である。余計なことを考えることもなく邪念がないからだろうか？秒読みの時はさすがに浮かんでこないことから集中力があるのだろう。歌が流れるのは普通だが、同じ歌ばかり浮かんでくる時は概して不調である。なぜこの曲ばかり？と思うほどしつこく流れてくる。気になることがあって夜寝られない時と状況は似ている。やはり集中力がない時なのだろう。

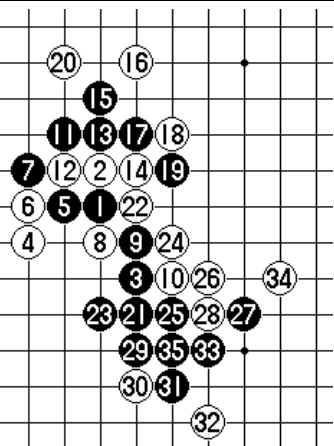
長年やっているパターンが見えてくる。よく浮かんでくるのがコマールソング。その時々流行なので印象が強いのだろう。あと意外と多いのが童謡である。メロディーが単純なせいかな？先の挑戦手合いで客観的に分析していたら、あまり同じ歌ではなく何十曲もの歌を頭で歌っていた。

しかも多くが若い頃（学生時代）の流行歌であった。記憶の底に眠っていたのだろうか。不思議である。しかもサビでもなく始めからでもなく中途半端に出てくるからまたそれが不思議である。皆さんも似たような経験があるのだろうか？興味があくが、いつかそのメカニズムが解明される日が来るかもしれない。

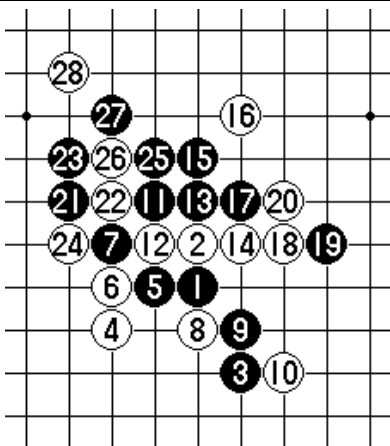
さて、今回は山月の定石から拾ってみよう。山月定石は「山月の研究」が詳しいのだが、私はそれを持っておらず、竹内定石にも載っていないから自力で探す必要があった。

とりあえず、山嵐に対しては黒11まで組み立てるのは知っており、白12、14がどうやら最強らしい。とりあえず、黒15から勝ちを探してみた。

黒17に対して白18と単に止めると、黒19から下に展開して、どうやら勝ちが

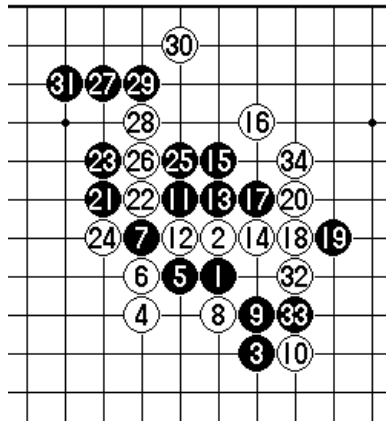


出そうだ。白22が必然となるので、黒25と引ければ勝ちとなる。しかし、白18で先に四ノビをしておけば、左辺で勝つしかなく、簡単に見つかると思ったら、なかなか出ない。



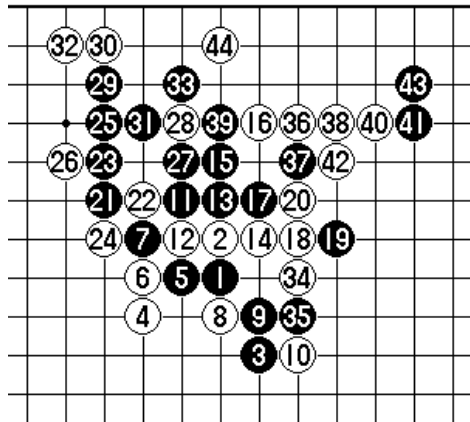
黒21からいつもの手筋で

勝てるかと思いきや、白28に止められて勝てない。で、28の地点が急所ということ。先に打つと、交換に白28が急所である。黒29に押さえて勝ったと思いきや、白30の絶対止めで困る。おもに32、34の四追いが残っている。勝ちには程遠い。



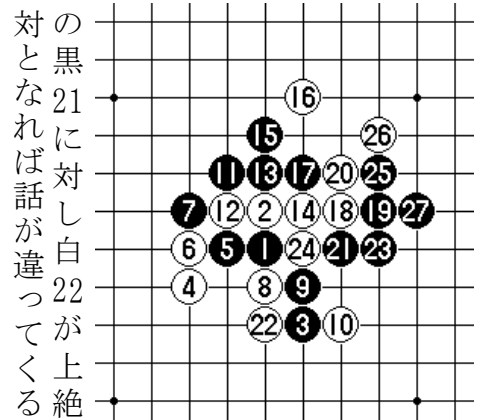
この白の四は黒にとつて鬱陶しく、先に32に引きたいが、下から止められて困る。仕方がないので黒25で打ち変えてみた。黒25と突き出すのが感じの出た一手で通常は勝ちとしたものだが、白26、28と堂々と止められて四ノビを効かされる

展開となり、やはり勝てないようだ。

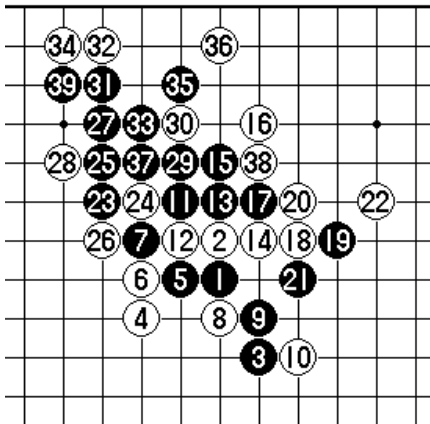


ここまで検討して「本当に勝ちがあるのか？」と思いに悩む。こういう時は原点に帰って考えた方がいい。結局白の四ノビが元凶なので、それを消せないか確認してみる。

黒21と引いた時に白22でダメだと思っていたが、黒23、25と引き出せば光が見える。何のことはない、黒27と打って白外止めなら以下四追いだ。白26を反対も同じ手順で問題ない。こ

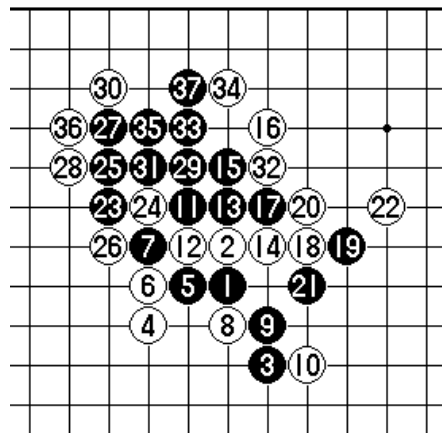


の黒21に対し白22が上絶対となれば話が違ってくる。



今度は黒27、29で良く、白30の防ぎでも白に四ノビがないので、悠々と黒35まで引け、以下四追いだ。ま

た、白30で次図のように止めるのも、以下黒37までの勝ちとなる。



山月定石もこれが一変化なのだから、その量の膨大さは推して知るべしである。しかし、それをすべて覚えようとしなくても、ある程度知っていれば十分なことが多い。今回の例でも黒21が引けることさえ知っていれば、後はいつもの手筋の応用である。定石は基礎知識と情報の両方が得られるため、覚えて損はない、ということである。